

広島県中小企業団体中央会 2017年9月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

9月の出荷量は前月比7.8%増加、前年同月比14.4%減少、売上高は前月比6.4%増加、前年同月比16.0%減少となった。対前年同月比減少は、昨年9月～12月、スポットによる出荷量増加によるものである。

木材・木製品

●木材・木製品

福山木材協同組合

例年通りこの時期は多忙である。しかし、来年以降の景況感是不透明である。

広島県木材協同組合連合会

- ・平成29年8月の全国の住宅着工戸数は80,562戸で、前年同月比2.0%減少
- ・季節調整済年率換算値では94.2万戸（前月比3.2%減少）
- ・利用関係別では、持家は24,379戸で前年同月比7.4%減少、貸家は34,968戸で前年同月比4.9%減少、分譲住宅は20,728戸で前年同月比12.0%増加
- ・木造住宅の着工数は46,912戸で、前年同月比3.7%減少
- ・住宅着工の動向は、前年同月比で2ヶ月連続の減少
- ・広島県内の8月の着工戸数は1,422戸で前年同月比11.0%減少
- ・利用関係別では、持家は430戸で前年比11.5%の減少、貸家は630戸で前年比12.3%増加、分譲は359戸で前年比34.8%の減少
- ・県全体の住宅着工の動向は、4月以降上向き気配で好調が続いていたが減少に転じている。
- ・地域別では広島市が着工戸数581戸で18.5%減少、福山市が306戸で0.6%減少、呉市が59戸で60.4%減少となった一方、東広島市は139戸で11.2%増加、廿日市市は75戸で102.7%増加、尾道市は51戸で59.4%増加と地域ごとにばらつきがある。
- ・ここ数年の中では高水準ながら今後の減少傾向が懸念される結果となった。
- ・プレカットは依然堅調ながら、需要の継続性について先行きを不安視する声もあり、経営規模や業態によっても景況感に偏りがある聞き取り結果となった。
- ・中小会員は依然厳しい経営環境にあり、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

景況感はず変わらず、厳しい状況が続いている。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

国内の自動車生産・販売共に下期は前年比増加となりつつあり、特に軽自動車、SUV車が増えつつある。それに伴い仕事量も対前年比5～7%増加してくる見通しである。

人手不足が深刻であり、募集しても応募がほとんどない。又、残業増加に加え、原材料の値上げにより収益状況はあまり好転しない。特に労働人口の不足は経済成長に大きな足かせとなっており、外国人労働者及び外国人技能実習生の規制緩和が急がれる。

将来、自動車エンジンの電動化が進むと、部品点数が減少するため、長期的には雇用が失われて

いく危機感がある。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

売上・設備操業度は全体的に各社横ばいから増加傾向にある。自動車関連も同様である。10月、11月は新車の立ち上がりにより設備操業度は増加する予定である。

消費財製品市場は横ばい傾向にある。

●医薬品製造業

広島県製薬協会

半期決算に伴い売上高が増加している。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

29年9月 3,181m³ (対前年比2.2%減少)

29年8月 3,110m³

28年9月 3,253m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

広島県鋳物工業協同組合

8月の売上高は、お盆休み等稼働日が少ないため減少したが、業況に大きな変化はない。

軀鉄鋼協同組合連合会

求人を出しても人が来ない。時間外労働に対しても、法令遵守が求められる。

最低賃金が上昇するが、取引条件は悪化する一方である。

福山で発生したホテル火災で、関係行政の指導不備が発覚したためか、最近数社が指導を受け、新しく設備導入をするため、費用がかさむとの声を聞く。

一般機器

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部江波地区においては、航空機のパネル組立ペースが月産4機～5機で推移しているが、今後下降気味である。

観音地区のタービン、コンプレッサーは上昇気味である。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月の売上は、スポット受注による増減と出荷時期の変更により対前月比40.0%増加、対前年同月比14.0%減少となった。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は個別受注案件の変動及び納期集中等により、前月比23.0%増加、前年同月比44.0%減少となった。国内外での受注は横ばいである。

最低賃金の上昇が経営を圧迫している。残業規制が厳しくなれば大いに経営を圧迫する。雇用問題、賃金問題、残業規制等中小企業にとっては厳しいものばかりである。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

9月の国内自動車販売台数は全需が495千台、前年同月比3.9%増加と11ヶ月連続の前年超えとなった。登録車は前年比0.4%増加と2ヶ月連続の前年超え、軽自動車は10.8%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダ車は7.6%増加と3ヶ月振りの前年超えとなった。

アメリカの8月の全需は1,483千台で前年同月比1.9%減少と8ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同1.0%減少と5ヶ月連続の前年割れとなった。

欧州の8月の全需は1,080千台で、前年同月比6.3%増加と4ヶ月連続の前年超えとなった。マツダ車は同6.7%増加と5ヶ月振りの前年超えとなった。

中国の8月の全需は2,179千台で、前年同月比3.2%増加。マツダ車も同8.4%増加と7ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の8月の海外販売合計台数は113千台、前年同月比3.4%増加と2ヶ月連続の前年超えとなった。

マツダの8月の輸出動向については、輸出台数は前年比7.2%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの8月の国内生産台数は、前年同月比4.1%減少と4ヶ月振りの前年割れとなった。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成29年9月の船舶建造許可実績は2隻156,950総トン（前月2隻174,000総トン、前年同月5隻209,500総トン）であった。なお、このうち1隻は貨物船で1隻が油槽船。国内船が1隻、輸出船が1隻となっている。

（社）中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

自動車関連は好況である。

その他

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

10月は大川（福岡県）で家具見本市が開催され、広島から4社が出展する。11月には東京でも同イベントが開催される予定である。

円安により、資材等の価格が上昇しており、収益悪化が懸念される。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合福山卸センター

需要の停滞等により、売上確保が難しい状況にある。

人手不足も深刻化している。

協同組合広島総合卸センター

「資材関連」においては、材木は値上げ気味。リフォーム、マンション工事が増加し出荷量が増えている。一方で工事現場は人手不足が続いており、人材確保が課題となっている。資材卸だけでは経営が厳しく、建設業の免許を取得し、工事を受注している事業者も多くなってきている。

「食品」においては、既存の取引先への売上は減少傾向である。人件費の高騰により減益となっている。

「繊維」においては、朝夕の冷え込みから秋物の売れ行きが上昇している。組合内同業者で人材不足解消のため、人材の移動が実現したケースもある。

「雑貨」においては、生活雑貨の既存店への売上は対前年比減少と苦戦している。地方小売店の販売が苦戦している模様である。

●卸売業（食料）

広島県東部食糧協同組合

米産地の日照不足、長雨の影響により新米の動きが鈍い。来月は新米の動きに期待したい。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の7月の着工状況は、前年比15.7%（内訳 持家7.8%増加、分譲70.1%増加、貸家9.6%減少）となり、分譲マンションの伸び率が高い。

官公庁物件の動きが悪い。民間物件もマンションは多いが他物件の動きが良くない状況にある。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

台風が連休に直撃し、来店客数が減少した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国産畳表の生産は、フル稼働となっている。売れ行きは消費地各地における展示即売会においても売れ行きはまずまずであり、相場は強気横ばいの状況のまま推移している。

小売業

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合（チェーンストア）

9月の売上は、前年比、前月比共に増加した。新規得意先の増加と野菜の相場高が大きな要因である。

昨年は8月下旬に北海道へ台風が幾度も上陸し、たまねぎ、じゃがいも等の野菜に大きな被害を与えた。今年は夏場の主産地である関東・東北地方の長雨による冷夏となり、本来であれば昨年の相場高を受け、本年は対前年比売上がマイナスになるはずであったが、こうした影響もあり、対前年比増加となった。

米も新米が出始めたが、主産地が不作で、今年は新米から値上がりしている。

広島東洋カープがセ・リーグの連覇を果たし、県内小売業は優勝セールを頻繁に行っている。行政等がのぼりやマークの入ったチラシを安価に提供してくれるなど、我々零細小売店で行える企画の提案を期待したい。

協同組合三次ショッピングセンター

カープ優勝セールにより売上は対前年比増加となった。昨年はマジック点灯から優勝まで期間が短かったが、今年は準備期間に余裕があり万全の状態でセールが出来た。

前月より新テナントの集客効果もあり、半数の店舗が売上が前年を大きく上回っている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

9月度の販売実績は前年同月比2.2%減少となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比8.6%減少、冷蔵庫同1.9%減少、洗濯機同4.9%増加、IHクッキングヒーター同2.5%減少、エアコン同10.6%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

原油価格の値上がりに円安が加わり、原油調達コストが上がったため、精製元売からの仕入値が週を追うごとに高騰している。しかし、販売価格への転嫁が進んでいない模様。中でも売掛先に対しては毎週の値上げ交渉は受け入れてもらえず、各社苦慮されているようである。

人手不足の問題は相変わらずで、経験者、未経験者共に不足している。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

宝石店など数店でカープ優勝セールを実施したが、残念ながら売上の大幅な増加には結びつかなかった。呉市ではカープ優勝セールの経済効果はあまりなかったようである。

広島金座街商店街振興組合

今月の売上は、昨年に比べカープ優勝時期が遅く、セール時期も遅くなったため、対前年比減少となった。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比22.0%増加、前年同月比6.2%増加。車検場収入は前月比20.4%増加、前年同月比3.2%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比36.4%増加、前年比7.7%減少となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

売上高については前年同月比減少となった。収益状況についても利益率が低いため減少している。

建設業

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

今月は建築完成物件が一段落し、内装工事もやや減少している。

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計で前月比67%、前年同月比51.3%、前年累計比72.5%といずれも減少している。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比2.8%増加、前年同月比27.2%増加となった。

広島市指定上下水道工事業協同組合

公共工事の出遅れにより売上高が減少している。

人手不足が続いている。

神辺建設業協同組合

各社受注は抱えているものの、業界全体として深刻な人手不足となっており、若手入職者の雇用が喫緊の課題となっている。行政官庁等の施策が我々中小企業には届いていないことも多く、また、技能実習制度の規制緩和等、現場の実態を踏まえた雇用施策等が必要であると思われる。

運輸業

道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

9月の売上は、前月に比べて稼働日数が2日多く、前月比増加となった。以前であれば9月は中間決算の会社が多く、貨物輸送の依頼が輻輳していたが、今月は通常の前月末と変わらず、繁忙期がないままであった。

売上が増加したのに収益が好転しないのは、軽油価格が若干ではあるが上昇していることが原因である。今後も上昇傾向にあるとの情報も出ている。

宅配便を扱っているヤマト運輸、佐川急便、日本郵便は運賃値上げを来年度も実施するとマスコミ発表されているが、取り扱っている貨物の種別や輸送形態等によって運賃値上げについて温度差がある。

広島輸送ターミナル協同組合

ドライバー不足と拘束時間の規制等により長距離輸送から撤退する事業者もおり、売上は前年比減少している。

自社倉庫の物流センター化や加工などの機能を付加し、物流構造の変革へ取り組んでいる。

運賃は全体的に上昇傾向にあるが、9月は燃料価格が上昇してきており、運賃の上昇幅に対し燃料価格の上昇幅が大きく、収益状況の改善には至っていない。年末にかけ、燃料価格の上昇を危惧している。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

荷動きは全体的に堅調な動きで対前年比やや増加傾向にあった。

軽油価格は中旬以降値上がり傾向であり、来月は中東情勢、中東原油価格の高騰を受け、大幅に値上がりすることが予想される。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

その他

不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月はお盆休み等で、売上高等が減少・悪化していたが、今月は公的評価(地価調査基準値評価)の報酬の入金や仕事量も増加し売上高等は増加・好転している。前年同月比は特に変化なし。

新築マンションの価格高騰の影響により中古マンション販売が好調。最近のリノベーションブームにより戸建中古物件も好調である。